

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	01	
授業科目	一般教養 I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	ビジネスで使用される初歩的な熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名①
	2	訓読み・送り仮名②
	3	熟語①
	4	熟語②
	5	熟語③
	6	異字同訓①
	7	異字同訓②
	8	同音異義①
	9	同音異義②
	10	誤字訂正①
	11	誤字訂正②
	12	項目別模擬試験①
	13	項目別模擬試験②
	14	直前模擬試験①
	15	直前模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	02
授業科目	キャリアデザイン I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	面接の入退室および自己PRができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 面接の基本 2 入退室の仕方 3 スーツの着こなし、身嗜み確認 4 自己PR作成① 5 自己PR作成② 6 自己PR作成③ 7 面接質問項目① 8 面接質問項目② 9 面接質問項目③ 10 業界研究① 11 業界研究② 12 模擬面接練習① 13 模擬面接練習② 14 模擬面接練習③ 15 模擬面接試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	03
授業科目	キャリアデザインⅡ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 働くとは 2 業界研究① 3 業界研究② 4 業界研究③ 5 志望動機の作り方① 6 志望動機の作り方② 7 志望動機の作り方③ 8 志望動機の作り方④ 9 志望動機の作り方⑤ 10 書類送付方法 11 ビジネス電話 12 ビジネスメール 13 内定後学習① 14 内定後学習② 15 内定後学習③
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	04
授業科目	キャリアデザインⅢ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	職業を理解した仕事をするための心構え・準備内容を理解する
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	職業を理解した仕事をする意識付け及び自己表現ができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 社会人としての心構え 2 職業理解 3 自己分析① 4 自己分析② 5 自己PR作成① 6 自己PR作成② 7 作文・小論文① 8 作文・小論文② 9 業界研究① 10 業界研究② 11 質疑応答① 12 質疑応答② 13 自己表現演習① 14 自己表現演習② 15 自己表現演習③
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	05
授業科目	病院実習 I
実務家教員授業	授業担当者：各医療機関における実習指導者
	実務経験及び授業との関連性：患者及び医療スタッフとの接触を通じた医療現場の実態を体験する実践的な教育により、医療事務員の基本的態度や対応に必要な基本的技術を身につけさせる
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	病院にて医療事務員として必要な基礎知識を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	病院内で行う医療事務の職業内容を理解する
教科書	病院実習日誌
特記	総合病院などに勤務している現役医療事務員から、患者案内や受付対応、医事課業務のポイント、注意点等を学ぶ
授業計画	1 現場実習（院内オリエンテーション）①
	2 現場実習（院内オリエンテーション）②
	3 現場実習（病院概要）①
	4 現場実習（病院概要）②
	5 現場実習（患者案内）①
	6 現場実習（患者案内）②
	7 現場実習（患者案内）③
	8 現場実習（患者案内）④
	9 現場実習（患者案内）⑤
	10 現場実習（カルテ管理）①
	11 現場実習（カルテ管理）②
	12 現場実習（カルテ管理）③
	13 現場実習（カルテ管理）④
	14 現場実習（カルテ管理）⑤
	15 現場実習（医事課業務）①
	16 現場実習（医事課業務）②
	17 現場実習（医事課業務）③
	18 現場実習（医事課業務）④
	19 現場実習（医事課業務）⑤
	20 現場実習（医事課業務）⑥
	21 現場実習（総合受付）①
	22 現場実習（総合受付）②
	23 現場実習（総合受付）③
	24 現場実習（総合受付）④
	25 現場実習（総合受付）⑤
	26 現場実習（外来クラーク）①
	27 現場実習（外来クラーク）②
	28 現場実習（外来クラーク）③
	29 現場実習（外来クラーク）④
	30 現場実習（外来クラーク）⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	施設評価と日誌、取り組む姿勢により評価
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	06
授業科目	診療情報管理実習 I
実務家教員授業	授業担当者：各医療機関における実習指導者 実務経験及び授業との関連性：患者及び医療スタッフとの接触を通じた医療現場の実態を体験する実践的な教育により、診療情報管理士の基本的態度や応対に必要な基本的知識及び技術を身につけさせる
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	病院にて医療事務員、診療情報管理士として必要な基礎知識を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	病院内で行う医療事務、診療情報管理士の職業内容を理解する
教科書	病院実習日誌
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 現場実習（院内オリエンテーション）① 2 現場実習（院内オリエンテーション）② 3 現場実習（初診受付）① 4 現場実習（初診受付）② 5 現場実習（初診受付）③ 6 現場実習（初診受付）④ 7 現場実習（初診受付）⑤ 8 現場実習（再診受付）① 9 現場実習（再診受付）② 10 現場実習（再診受付）③ 11 現場実習（再診受付）④ 12 現場実習（再診受付）⑤ 13 現場実習（カルテ管理）① 14 現場実習（カルテ管理）② 15 現場実習（カルテ管理）③ 16 現場実習（カルテ管理）④ 17 現場実習（カルテ管理）⑤ 18 現場実習（カルテ管理）⑥ 19 現場実習（カルテ管理）⑦ 20 現場実習（カルテ管理）⑧ 21 現場実習（診療情報管理室内業務）① 22 現場実習（診療情報管理室内業務）② 23 現場実習（診療情報管理室内業務）③ 24 現場実習（診療情報管理室内業務）④ 25 現場実習（診療情報管理室内業務）⑤ 26 現場実習（診療情報管理室内業務）⑥ 27 現場実習（診療情報管理室内業務）⑦ 28 現場実習（診療情報管理室内業務）⑧ 29 現場実習（診療情報管理室内業務）⑨ 30 現場実習（診療情報管理室内業務）⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	施設評価と日誌、取り組む姿勢により評価
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	07
授業科目	秘書実践
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	来客者に対する応対マナーや対応方法を身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	全年齢層に対する適切な対応ができるようになる
教科書	オリジナルテキスト、保育所保育指針
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会人としてのマナー（言葉遣い、態度） 2 社会人としてのマナー（表情、アイコンタクト） 3 社会人としてのマナー（挨拶、お辞儀） 4 社会人としてのマナー（挨拶の基本フレーズ） 5 立ち居振る舞い、聞く聴く 6 来訪者に対する受付の流れ 7 基本応対事例の確認及びトレーニング 8 確認テスト 9 マニュアルにとらわれない自然な声掛け、聴く姿勢 10 メモの取り方 11 来客受付の一連の流れ 12 来客応対 実技演習① 13 来客応対 実技演習② 14 来客応対 効果測定① 15 来客応対 効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	08
授業科目	医学と疾病
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	人体の基本的な仕組みや働き及び疾病について理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	人体構造の基礎と子どものかかりやすい疾病を理解する
教科書	子どもの健康と安全、厚生労働省が発信する関連ガイドライン
特記	
授業計画	1 人体の仕組み：構造① 2 人体の仕組み：構造② 3 人体の仕組み：構造③ 4 人体の仕組み：構造④ 5 人体の働き：機能① 6 人体の働き：機能② 7 人体の働き：機能③ 8 人体の働き：機能④ 9 疾病予防の基本 10 主な疾病と対応① 11 主な疾病と対応② 12 主な疾病と対応③ 13 主な疾病と対応④ 14 主な疾病と対応⑤ 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と試験により評価する。
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	09
授業科目	小児援助技術 I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	乳児、幼児とのかかわり方を演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	子どもの個別対応方法を身につける
教科書	保育所保育指針、子どもの発達理解と援助
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 保育における子どもの理解 2 表現演習① 3 子どもに対する関わりと共感的理解 4 表現演習② 5 子どもの生活や遊び 6 表現演習③ 7 保育の人的環境としての保育者と子どもの発達 8 表現演習④ 9 子ども相互の関わりと関係づくり 10 表現演習⑤ 11 集団における経験と育ち 12 個別援助① 13 発達における葛藤やつまずき 14 個別援助② 15 保育の環境の理解と構成 16 個別援助③ 17 環境の変化や移行 18 個別援助④ 19 子ども理解のための観察・記録と省察・評価 20 個別援助⑤ 21 子ども理解のための職員間の対話 22 個別援助⑥ 23 子ども理解のための保護者との情報共有 24 個別援助⑦ 25 発達の課題に応じた援助と関わり 26 個別援助⑧ 27 特別な配慮を要する子どもの理解と援助 28 個別援助⑨ 29 発達の連続性と就学への支援 30 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	10
授業科目	小児援助技術Ⅱ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	小児援助技術Ⅰで学んだ基礎を基に、自ら乳児、幼児とのかかわり方を考える
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	自ら対応方法の計画を立て対応方法を身につける
教科書	保育所保育指針、子どもの発達理解と援助
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 子ども理解と保育のつながり 2 子どもの活動内容① 3 子どもの活動内容② 4 子どもの活動内容③ 5 場面を想定した保育の活動内容の実践① 6 場面を想定した保育の活動内容の実践② 7 場面を想定した保育の活動内容の実践③ 8 指導案の作成① 9 指導案の作成② 10 指導案の作成③ 11 指導案の作成④ 12 指導案の作成⑤ 13 指導案の作成⑥ 14 指導案の作成⑦ 15 指導案の作成⑧ 16 指導案に基づく実技① 17 指導案に基づく実技② 18 指導案に基づく実技③ 19 指導案に基づく実技④ 20 指導案に基づく実技⑤ 21 指導案に基づく実技⑥ 22 指導案に基づく実技⑦ 23 指導案に基づく実技⑧ 24 指導案に基づく実技⑨ 25 指導案に基づく実技⑩ 26 指導案に基づく実技⑪ 27 指導案に基づく実技⑫ 28 指導案に基づく実技⑬ 29 指導案に基づく実技⑭ 30 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	11
授業科目	養護内容
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	養護を実践している施設の現状を理解し、そこで必要なスキルを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	広義の養護について全体像を把握する
教科書	社会的養護と障害児保育
特記	
授業計画	1 養護とは① 2 養護とは② 3 社会的養護の理解と概念 4 社会的養護施設の概要① 5 社会的養護施設の概要② 6 社会的養護施設の概要③ 7 家庭養護の概要① 8 家庭養護の概要② 9 施設養護の専門職① 10 施設養護の専門職② 11 日常生活支援とは① 12 日常生活支援とは② 13 治療的支援とは① 14 治療的支援とは② 15 自立支援とは① 16 自立支援とは② 17 専門職の連携① 18 専門職の連携② 19 地域医療・地域福祉・地域ネットワーク① 20 地域医療・地域福祉・地域ネットワーク② 21 社会資源① 22 社会資源② 23 地域の社会資源調査① 24 地域の社会資源調査② 25 地域の社会資源調査③ 26 地域の社会資源調査④ 27 地域の社会資源調査⑤ 28 地域の社会資源調査⑥ 29 調査結果発表① 30 調査結果発表②
成績評価方法 (試験実施方法)	出席とレポートにより評価する。
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	12
授業科目	施設実習Ⅴ
実務家教員授業	授業担当者：各施設における実習指導者 実務経験及び授業との関連性：利用者及び施設スタッフとの接触を通じた福祉施設現場の実態を体験する実践的な教育により、施設職員の基本的態度や応対に必要な基本的技術を身につけさせる
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	施設職員として必要な基礎知識や基礎技術を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基に実践的な知識や技術を学ぶ
達成目標	施設内で行う施設職員の様々な業務内容を理解し、実践できるようにする
教科書	実習の記録と指導案、実習日誌
特記	実務家教員は、保険医療機関又は福祉施設等で勤務している現役の職員
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 現場実習（オリエンテーション）① 2 現場実習（オリエンテーション）② 3 現場実習（見学・観察）① 4 現場実習（見学・観察）② 5 現場実習（見学・観察）③ 6 現場実習（見学・観察）④ 7 現場実習（見学・観察）⑤ 8 現場実習（見学・観察）⑥ 9 現場実習（見学・観察）⑦ 10 現場実習（見学・観察）⑧ 11 現場実習（参加体験）① 12 現場実習（参加体験）② 13 現場実習（参加体験）③ 14 現場実習（参加体験）④ 15 現場実習（参加体験）⑤ 16 現場実習（参加体験）⑥ 17 現場実習（参加体験）⑦ 18 現場実習（参加体験）⑧ 19 現場実習（参加体験）⑨ 20 現場実習（参加体験）⑩ 21 現場実習（参加体験）⑪ 22 現場実習（参加体験）⑫ 23 現場実習（部分実習）① 24 現場実習（部分実習）② 25 現場実習（部分実習）③ 26 現場実習（部分実習）④ 27 現場実習（部分実習）⑤ 28 現場実習（部分実習）⑥ 29 現場実習（部分実習）⑦ 30 現場実習（部分実習）⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	実習内容・実習簿評価により評価する。
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	13
授業科目	実習事前指導
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	施設実習を円滑に進めるための知識・技術・態度について学ぶ
授業の進め方	グループワークと実技演習
達成目標	施設内で行う施設職員の様々な職業内容を理解する
教科書	実習の記録と指導案、保育専門職と保育実践、配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 実習の概要・意義・目的の確認 2 実習先研究① 3 実習先研究② 4 実習先研究③ 5 実習生としての心構えの確認 6 実習生マナー① 7 実習生マナー② 8 実習生マナー③ 9 実習計画について 10 実習計画に基づく保育実践 11 考察について 12 考察について 13 日誌・記録の取り方① 14 日誌・記録の取り方② 15 日誌・記録の取り方③
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	14
授業科目	ボランティア実践
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	ボランティア活動について学び、体験を通して対応スキルを向上させる
授業の進め方	希望の職種（病院や施設）などの外部施設でボランティア活動を行う
達成目標	ボランティアマインドを実践を通して学ぶ
教科書	配布プリント・資料
特記	実務家教員は、保険医療機関、福祉施設等で勤務している現役の職員
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ボランティア活動とは 2 ボランティア活動と実習の違い 3 ボランティア活動の心構え① 4 ボランティア活動の心構え② 5 さまざまなボランティア 6 ボランティア活動方法① 7 ボランティア活動方法② 8 ボランティア活動方法③ 9 学内ボランティア実践又は外部ボランティア① 10 学内ボランティア実践又は外部ボランティア② 11 学内ボランティア実践又は外部ボランティア③ 12 学内ボランティア実践又は外部ボランティア④ 13 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑤ 14 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑥ 15 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑦ 16 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑧ 17 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑨ 18 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑩ 19 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑪ 20 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑫ 21 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑬ 22 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑭ 23 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑮ 24 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑯ 25 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑰ 26 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑱ 27 ボランティア活動報告① 28 ボランティア活動報告② 29 ボランティア活動報告③ 30 ボランティア活動報告④
成績評価方法 (試験実施方法)	出席とレポートにより評価する。
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	15	
授業科目	音楽ケアの基礎 I	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	音楽がもつ様々な効果や影響について学ぶ	
授業の進め方	講義と実技を通して学ぶ	
達成目標	子どもの前で実践できるようにする	
教科書	幼児のための音楽教育、配布プリント	
特記		
授業計画	1	音楽の重要性
	2	音楽の効果①
	3	音楽の効果②
	4	音楽ケアの実践①
	5	音楽ケアの実践②
	6	音楽ケアの実践③
	7	音楽ケアの実践④
	8	音楽ケアの実践⑤
	9	音楽ケアの実践⑥
	10	音楽ケアの実践⑦
	11	音楽ケアの実践⑧
	12	音楽ケアの実践⑨
	13	音楽ケアの実践⑩
	14	音楽ケアの実践⑪
	15	音楽ケアの実践⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	16
授業科目	小児援助実践 I
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	乳児、幼児とのかかわり方を演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	子どもの個別対応方法を身につける
教科書	保育専門職と保育実践
特記	
授業計画	1 乳児・幼児研究① 2 乳児・幼児研究② 3 乳児・幼児研究③ 4 乳児・幼児研究④ 5 乳児とのかかわり① 6 乳児とのかかわり② 7 幼児とのかかわり① 8 幼児とのかかわり② 9 乳児に合わせた対応計画の作成① 10 乳児に合わせた対応計画の作成② 11 幼児に合わせた対応計画の作成① 12 幼児に合わせた対応計画の作成② 13 乳児・幼児の対応計画に基づく演習① 14 乳児・幼児の対応計画に基づく演習② 15 乳児・幼児の対応計画に基づく演習③
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	17
授業科目	小児援助実践Ⅱ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	乳児、幼児とのかかわり方を演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	子どもの集団対応方法を身につける
教科書	保育専門職と保育実践
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 子どもに対する共感的理解について① 2 子どもに対する共感的理解について② 3 子どもに対する共感的理解について③ 4 子どもを理解する視点を考える① 5 子どもを理解する視点を考える② 6 子どもを理解する視点を考える③ 7 子ども相互の関わりと関係づくりを築くための実践的な働きかけ① 8 子ども相互の関わりと関係づくりを築くための実践的な働きかけ② 9 子ども相互の関わりと関係づくりを築くための実践的な働きかけ③ 10 特別な配慮を要する子どもの理解と援助について① 11 特別な配慮を要する子どもの理解と援助について② 12 特別な配慮を要する子どもの理解と援助について③ 13 子育て支援・家庭支援における子どもの理解① 14 子育て支援・家庭支援における子どもの理解② 15 子育て支援・家庭支援における子どもの理解③ 16 個別・集団演習① 17 個別・集団演習② 18 個別・集団演習③ 19 個別・集団演習④ 20 個別・集団演習⑤ 21 個別・集団演習⑥ 22 個別・集団演習⑦ 23 個別・集団演習⑧ 24 個別・集団演習⑨ 25 個別・集団演習⑩ 26 個別・集団演習⑪ 27 個別・集団演習⑫ 28 個別・集団演習⑬ 29 個別・集団演習⑭ 30 個別・集団演習⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	18
授業科目	障害児（者）援助論
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	障害児や障害者の支援方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	障害への理解と援助方法を理解する
教科書	社会的養護と障害児保育
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 対象別にみた障害の理解① 2 対象別にみた障害の理解② 3 対象別にみた障害の理解③ 4 対象別にみた障害の理解④ 5 対象別にみた障害の理解⑤ 6 障害児（者）自立支援① 7 障害児（者）自立支援② 8 障害児（者）自立支援③ 9 事例研究① 10 事例研究② 11 事例研究③ 12 事例研究④ 13 支援者の理解① 14 支援者の理解② 15 障害児（者）福祉の今後の課題
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と試験により評価する。
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	19
授業科目	卒業研究
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	個人・グループにて研究項目を選択し、研究を進めより知識を深める
授業の進め方	個人研究、グループ研究、全体発表
達成目標	卒業後必要となる知識・技術の理解を深める
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 卒業研究に関する学習の進め方 2 研究テーマの理解 3 研究テーマの決定 4 研究テーマの個人研究① 5 研究テーマの個人研究② 6 研究テーマの個人研究③ 7 研究テーマの個人研究④ 8 研究テーマの個人研究⑤ 9 グループ研究① 10 グループ研究② 11 グループ研究③ 12 グループ研究④ 13 グループ研究⑤ 14 研究発表① 15 研究発表②
成績評価方法 (試験実施方法)	出席とレポートにより評価する。
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	20	
授業科目	パソコン演習	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	パソコンでの演習を通して操作方法を学ぶ	
授業の進め方	テキスト、配布プリントを使用して実践力を養う	
達成目標	卒業後必要となる知識・技術を身につける	
教科書	オリジナルテキスト、配布プリント	
特記		
授業計画	1	パソコンの基本的操作とインターネットの利用法、ネチケット
	2	文書の作成と管理
	3	一般的なビジネス文書の作成
	4	シンプルなレポートや報告書の作成
	5	ビジネス文書の作成方法の復習
	6	イラストや図形を使ったビジュアルな文書の作成
	7	写真の挿入や加工方法①
	8	写真の挿入や加工方法②
	9	画像の編集方法①
	10	画像の編集方法②
	11	画像の編集方法③
	12	HPの作成・活用方法①
	13	HPの作成・活用方法②
	14	HPの作成・活用方法③
	15	HPの作成・活用方法④
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と課題提出、試験により評価する。	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	21	
授業科目	医療キャリアデザイン I	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	医療事務員としての自己表現力を身に付ける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	医療事務員として自己表現ができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	自己分析見直し①
	2	自己分析見直し②
	3	自己分析見直し③
	4	自己分析見直し④
	5	自己分析見直し⑤
	6	自己PR作成①
	7	自己PR作成②
	8	自己PR作成③
	9	自己PR作成④
	10	自己PR作成⑤
	11	自己表現演習①
	12	自己表現演習②
	13	自己表現演習③
	14	自己表現演習④
	15	自己表現演習⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	22
授業科目	ビジネス教養 I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	医療機関で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	電卓技能の向上を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 電卓の使い方、端数の取り扱い 2 電卓演習① 3 電卓演習② 4 電卓演習③ 5 電卓演習④ 6 電卓演習⑤ 7 電卓演習⑥ 8 電卓演習⑦ 9 電卓演習⑧ 10 電卓演習⑨ 11 電卓演習⑩ 12 電卓演習⑪ 13 電卓演習⑫ 14 電卓演習⑬ 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	23
授業科目	医療請求事務基礎 I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務の基礎を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療保険制度、医療保険の給付 2 医療事務の仕事、カルテ・レセプトの上書き 3 初診料 4 初診料レセプト記載法 5 再診料① 6 再診料② 7 再診料レセプト記載法 8 医学管理等 9 医学管理等レセプト記載法 10 投薬料① 11 投薬料② 12 投薬料③ 13 投薬料レセプト記載法 14 注射料① 15 注射料② 16 注射料レセプト記載法 17 処置料 18 処置料レセプト記載法 19 手術料① 20 手術料② 21 手術料レセプト記載法 22 検査料① 23 検査料② 24 検査料③ 25 検査料④ 26 検査料レセプト記載法 27 画像診断料① 28 画像診断料② 29 画像診断料レセプト記載法 30 処方せん料、処方せん料レセプト記載法
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	24	
授業科目	医療請求事務基礎Ⅱ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための基礎的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	診療報酬における請求事務の基礎を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	初・再診料(学科対策)
	2	医学管理料(学科対策)
	3	在宅医療料(学科対策)
	4	検査料(学科対策)
	5	その他(学科対策)
	6	初・再診料(レセプト問題①)
	7	初・再診料(レセプト問題②)
	8	初・再診料(レセプト総合問題①)
	9	初・再診料(レセプト総合問題②)
	10	医学管理料(レセプト問題①)
	11	医学管理料(レセプト問題②)
	12	医学管理料(レセプト総合問題①)
	13	医学管理料(レセプト総合問題②)
	14	学科・レセプト応用問題①
	15	学科・レセプト応用問題②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
成績評価基準	秀:90点以上、優:80点以上、良:70点以上、可:60点以上、不可:60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	25	
授業科目	医療請求事務基礎演習	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための基礎的な知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	診療報酬における請求事務の基礎を理解する	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	レセプト項目別問題①
	2	レセプト項目別問題②
	3	レセプト項目別問題③
	4	レセプト項目別問題④
	5	レセプト項目別問題⑤
	6	レセプト項目別総合問題
	7	レセプト基礎問題①
	8	レセプトフォロー基礎問題①
	9	レセプト基礎問題②
	10	レセプトフォロー基礎問題②
	11	レセプト基礎問題③
	12	レセプトフォロー基礎問題③
	13	レセプト基礎問題④
	14	レセプトフォロー基礎問題④
	15	レセプト基礎問題⑤
	16	レセプトフォロー基礎問題⑤
	17	レセプト基礎総合問題
	18	レセプト応用問題①
	19	レセプトフォロー応用問題①
	20	レセプト応用問題②
	21	レセプトフォロー応用問題②
	22	レセプト応用問題③
	23	レセプトフォロー応用問題③
	24	レセプト応用問題④
	25	レセプトフォロー応用問題④
	26	レセプト応用問題⑤
	27	レセプトフォロー応用問題⑤
	28	レセプト応用総合問題
	29	レセプト最終確認直前問題①
	30	レセプト最終確認直前問題②
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験	
成績評価基準	秀:90点以上、優:80点以上、良:70点以上、可:60点以上、不可:60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	26
授業科目	医療請求事務応用 I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための応用的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務の応用を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 初・再診料等の復習 2 入院料 3 入院料レセプト記載法 4 入院基本料等加算、入院時食事療養費 5 入院基本料等加算、入院時食事療養費レセプト記載法 6 投薬料、投薬料レセプト記載法 7 注射料、注射料レセプト記載法 8 レセプト総合演習① 9 処置料① 10 処置料② 11 処置料レセプト記載法 12 手術料① 13 手術料② 14 手術料レセプト記載法 15 麻酔料、神経ブロック料 16 麻酔料、神経ブロック料レセプト記載法 17 検査料① 18 検査料② 19 検査料③ 20 検査料レセプト記載法 21 レセプト総合演習② 22 画像診断料 23 画像診断料レセプト記載法 24 医学管理等 25 医学管理等レセプト記載法 26 リハビリテーション料、精神科専門療法料、放射線治療、処方箋料レセプト記載法 27 公費負担医療制度 28 レセプト総合演習③ 29 レセプト総合演習④ 30 レセプト総合演習⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	27
授業科目	医療請求事務応用Ⅱ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための応用的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務の応用を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 投薬・注射料(学科対策) 2 リハビリテーション料(学科対策) 3 精神科専門療法料(学科対策) 4 総合実技演習①(外来レセプト) 5 処置料(学科対策) 6 手術・麻酔料(学科対策) 7 総合実技演習②(外来レセプト) 8 放射線治療(学科対策) 9 入院料等(学科対策) 10 総合実技演習③(入院レセプト) 11 過去問対策① 12 過去問対策② 13 過去問対策③ 14 過去問対策④ 15 過去問対策⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀: 90点以上、優: 80点以上、良: 70点以上、可: 60点以上、不可: 60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	28	
授業科目	医療請求事務応用演習	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための応用的な知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	診療報酬における請求事務の応用を理解する	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	レセプト項目別問題①
	2	レセプト項目別問題②
	3	レセプト項目別問題③
	4	レセプト基礎問題①
	5	レセプト基礎問題②
	6	レセプト基礎問題③
	7	レセプト基礎問題④
	8	レセプト基礎問題⑤
	9	レセプト応用問題①
	10	レセプト応用問題②
	11	レセプト応用問題③
	12	レセプト応用問題④
	13	レセプト応用問題⑤
	14	レセプト最終確認直前問題①
	15	レセプト最終確認直前問題②
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験	
成績評価基準	秀:90点以上、優:80点以上、良:70点以上、可:60点以上、不可:60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	29	
授業科目	医療秘書実務基礎 I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	医療秘書の職務と役割を理解するための基礎的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	医療秘書における基礎的な知識を理解する	
教科書	医療秘書（株式会社メディカルエデュケーション） 病院のマネジメント（建帛社）	
特記		
授業計画	1	日本の医療制度と特徴（医療秘書）
	2	病院の組織と運営（医療秘書）
	3	医療秘書の仕事と役割（医療秘書）
	4	求められる人物像（医療秘書）
	5	医療サービスと接遇（医療秘書）
	6	患者対応の基本（医療秘書）
	7	患者対応の応用（医療秘書）
	8	敬語について（医療秘書）
	9	ビジネス文書と文書作成（医療秘書）
	10	院外文書の作成（医療秘書）
	11	院内文書の作成（医療秘書）
	12	復習（医療秘書）①
	13	復習（医療秘書）②
	14	総合演習（医療秘書）①
	15	総合演習（医療秘書）②
	16	総合演習（医療秘書）③
	17	病院の目的と機能（病院のマネジメント）
	18	診療部門（病院のマネジメント）
	19	看護部門（病院のマネジメント）
	20	副診療技術部門（病院のマネジメント）
	21	薬剤部門（病院のマネジメント）
	22	栄養・給食部門（病院のマネジメント）
	23	臨床試験センター（病院のマネジメント）
	24	人間関係のマネジメント（病院のマネジメント）
	25	事務部門（病院のマネジメント）
	26	復習（病院のマネジメント）①
	27	復習（病院のマネジメント）②
	28	総合演習（病院のマネジメント）①
	29	総合演習（病院のマネジメント）②
	30	総合演習（病院のマネジメント）③
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	30
授業科目	医療秘書実務基礎Ⅱ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	医療秘書の職務と役割を理解するための基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	医療秘書における基礎的な知識を理解する
教科書	医療関連法規第2版(建帛社) DMT Disease & Medicinal therapy(株式会社 薬ゼミ情報教育センター)
特記	
授業計画	1 健康保険法(関連法規) 2 保険の種類(関連法規) 3 療養の給付および入院食事療養費など(関連法規) 4 保険給付(関連法規) 5 日雇特例被保険者制度(関連法規) 6 船員保険法(関連法規) 7 各種共済組合法(関連法規) 8 国民健康保険法(関連法規) 9 高額療養費支給制度(関連法規) 10 復習(関連法規) 11 脳、眼科(基礎医学) 12 神経系(基礎医学) 13 耳鼻咽喉科、循環器科(基礎医学) 14 循環器科、皮膚(基礎医学) 15 復習(基礎医学)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀:90点以上、優:80点以上、良:70点以上、可:60点以上、不可:60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	31
授業科目	医療秘書実務基礎演習
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	医療秘書の職務と役割を理解するための基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	医療秘書における基礎的な知識を理解する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 基礎練習問題① 2 基礎練習問題② 3 基礎練習問題③ 4 基礎練習問題④ 5 基礎練習問題⑤ 6 基礎練習問題⑥ 7 直前練習問題① 8 直前練習問題② 9 直前練習問題③ 10 直前練習問題④ 11 直前練習問題⑤ 12 直前練習問題⑥ 13 最終確認問題① 14 最終確認問題② 15 最終確認問題③
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	32
授業科目	医療秘書実践 I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	受付での患者対応マナーや対応方法を身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	患者だけでなく、その家族や来客に適切な対応ができるようになる
教科書	患者接遇パーフェクト・レッスン (医学通信社) 配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会人としてのマナー (言葉遣い、態度) 2 社会人としてのマナー (表情、アイコンタクト) 3 社会人としてのマナー (挨拶、お辞儀) 4 社会人としてのマナー (挨拶の基本フレーズ) 5 立ち居振る舞い、聞く聴く 6 初診受付の流れ 7 初診受付基本対応 8 確認テスト 9 医療者としてのマナー (自然な声掛け、聴く姿勢) 10 カルテの上書き 11 初診受付の一連の流れ 12 初診受付 実技演習① 13 初診受付 実技演習② 14 初診受付 効果測定① 15 初診受付 効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	33
授業科目	医療秘書実践Ⅱ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	受付での患者対応マナーや対応方法を身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	患者だけでなく、その家族や来客に適切な対応ができるようになる
教科書	患者接遇パーフェクト・レッスン（医学通信社） 配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 身だしなみ（服装、髪型） 2 身だしなみ（メイク）、挨拶① 3 訊く、質問、メモの取り方 4 他己紹介、メモの取り方 5 好感度アップ、挨拶② 6 指示アドバイスを受ける 7 報告・連絡・相談 8 電話対応①（内線） 9 電話対応②（内線） 10 個人情報への配慮 11 守秘義務規定 12 医療機関での個人情報にあたる書類の確認 13 医療費の支払いに関する配慮 14 お釣りの計算① 15 お釣りの計算② 16 会計受付 17 会計受付ロールプレイング① 18 会計受付ロールプレイング② 19 確認テスト 20 再診受付 21 再診受付ロールプレイング① 22 再診受付ロールプレイング② 23 再診・会計実技演習① 24 再診・会計実技演習② 25 再診・会計実技演習③ 26 再診・会計実技演習④ 27 再診・会計効果測定① 28 再診・会計効果測定② 29 再診・会計効果測定③ 30 会計受付
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	34
授業科目	診療報酬基礎
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務の基礎を理解する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 診療報酬項目別基礎演習 1 2 診療報酬項目別基礎演習 2 3 診療報酬項目別基礎演習 3 4 診療報酬項目別基礎演習 4 5 診療報酬項目別基礎演習 5 6 診療報酬項目別基礎演習 6 7 診療報酬項目別基礎演習 7 8 診療報酬項目別基礎演習 8 9 診療報酬項目別基礎演習 9 10 診療報酬項目別基礎演習 10 11 診療報酬項目別基礎演習 11 12 診療報酬項目別基礎演習 12 13 診療報酬項目別基礎演習 13 14 診療報酬項目別基礎演習 14 15 診療報酬項目別基礎演習 15
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀: 90点以上、優: 80点以上、良: 70点以上、可: 60点以上、不可: 60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	35
授業科目	診療報酬応用 I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための応用的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務の応用的な内容を理解する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 診療報酬項目別応用演習 1 2 診療報酬項目別応用演習 2 3 診療報酬項目別応用演習 3 4 診療報酬項目別応用演習 4 5 診療報酬項目別応用演習 5 6 診療報酬項目別応用演習 6 7 診療報酬項目別応用演習 7 8 診療報酬項目別応用演習 8 9 診療報酬項目別応用演習 9 10 診療報酬項目別応用演習 10 11 診療報酬項目別応用演習 11 12 診療報酬項目別応用演習 12 13 診療報酬項目別応用演習 13 14 診療報酬項目別応用演習 14 15 診療報酬項目別応用演習 15 16 診療報酬項目別応用演習 16 17 診療報酬項目別応用演習 17 18 診療報酬項目別応用演習 18 19 診療報酬項目別応用演習 19 20 診療報酬項目別応用演習 20 21 診療報酬項目別応用演習 21 22 診療報酬項目別応用演習 22 23 診療報酬項目別応用演習 23 24 診療報酬項目別応用演習 24 25 診療報酬項目別応用演習 25 26 診療報酬項目別応用演習 26 27 診療報酬項目別応用演習 27 28 診療報酬項目別応用演習 28 29 診療報酬項目別応用演習 29 30 診療報酬項目別応用演習 30
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	36
授業科目	診療報酬応用Ⅱ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための応用的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務の応用的な内容を理解する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 診療報酬項目別応用演習 3 1 2 診療報酬項目別応用演習 3 2 3 診療報酬項目別応用演習 3 3 4 診療報酬項目別応用演習 3 4 5 診療報酬項目別応用演習 3 5 6 診療報酬項目別応用演習 3 6 7 診療報酬項目別応用演習 3 7 8 診療報酬項目別応用演習 3 8 9 診療報酬項目別応用演習 3 9 10 診療報酬項目別応用演習 4 0 11 診療報酬項目別応用演習 4 1 12 診療報酬項目別応用演習 4 2 13 診療報酬項目別応用演習 4 3 14 診療報酬項目別応用演習 4 4 15 診療報酬項目別応用演習 4 5 16 診療報酬項目別応用演習 4 6 17 診療報酬項目別応用演習 4 7 18 診療報酬項目別応用演習 4 8 19 診療報酬項目別応用演習 4 9 20 診療報酬項目別応用演習 5 0 21 診療報酬項目別応用演習 5 1 22 診療報酬項目別応用演習 5 2 23 診療報酬項目別応用演習 5 3 24 診療報酬項目別応用演習 5 4 25 診療報酬項目別応用演習 5 5 26 診療報酬項目別応用演習 5 6 27 診療報酬項目別応用演習 5 7 28 診療報酬項目別応用演習 5 8 29 診療報酬項目別応用演習 5 9 30 診療報酬項目別応用演習 6 0
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	37	
授業科目	診療報酬演習	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための応用的な演習を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	診療報酬における請求事務の応用的な内容を理解する	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	診療報酬演習 1
	2	診療報酬演習 2
	3	診療報酬演習 3
	4	診療報酬演習 4
	5	診療報酬演習 5
	6	診療報酬演習 6
	7	診療報酬演習 7
	8	診療報酬演習 8
	9	診療報酬演習 9
	10	診療報酬演習 10
	11	診療報酬演習 11
	12	診療報酬演習 12
	13	診療報酬演習 13
	14	診療報酬演習 14
	15	診療報酬演習 15
	16	診療報酬演習 16
	17	診療報酬演習 17
	18	診療報酬演習 18
	19	診療報酬演習 19
	20	診療報酬演習 20
	21	診療報酬演習 21
	22	診療報酬演習 22
	23	診療報酬演習 23
	24	診療報酬演習 24
	25	診療報酬演習 25
	26	診療報酬演習 26
	27	診療報酬演習 27
	28	診療報酬演習 28
	29	診療報酬演習 29
	30	診療報酬演習 30
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
成績評価基準	秀:90点以上、優:80点以上、良:70点以上、可:60点以上、不可:60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	38	
授業科目	医療概論	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	医学と医療制度の成り立ちを知る	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	医療の社会的役割を理解する	
教科書	診療情報管理 I、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）	
特記		
授業計画	1	医療と医学①
	2	医療と医学②
	3	医療の倫理①
	4	医療の倫理②
	5	診療情報提供
	6	社会保障制度①
	7	社会保障制度②
	8	医療関連法規
	9	公衆衛生
	10	包括医療
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	39	
授業科目	人体構造・機能論	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	人体の基本的な仕組みや働きを理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	診療録と人体構造の知識を照らし合わせ理解する	
教科書	診療情報管理 I、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）	
特記		
授業計画	1	人体の仕組み：構造①
	2	人体の仕組み：構造②
	3	人体の仕組み：構造③
	4	人体の仕組み：構造④
	5	人体の仕組み：構造⑤
	6	人体の働き：機能①
	7	人体の働き：機能②
	8	人体の働き：機能③
	9	人体の働き：機能④
	10	人体の働き：機能⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	40
授業科目	臨床医学総論
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	先天性の疾病や損傷、中毒及びその他の外因による疾病について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	各種疾病の概要、検査方法を理解する
教科書	診療情報管理 I、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康と疾病の原因、病理的变化 2 検査所見、治療の方針 3 神経系、眼、耳、顔面及び頸部の先天奇形 4 循環器系、呼吸器系、呼吸器系の先天奇形 5 尿路系、筋骨格系、その他の先天奇形 6 染色体異常 7 頭部、頸部の損傷 8 上肢、下肢の損傷 9 薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒 10 損傷、中毒およびその他の外因による影響の続発・後遺症
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
科目番号	41		
授業科目	臨床医学各論 I		
実務家教員授業	—		
	—		
学部・学科	医療福祉専攻科		
履修年次	1年次		
開講学期	通年		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	20時間		
授業コマ数	10コマ		
授業概要	感染症の原因となる細菌、ウイルスなどについて知識を修得し、各感染症の特徴、診断法等知識を深める		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	感染症患者の各種診療記録の内容が理解できる		
教科書	診療情報管理 I、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）		
特記			
授業計画	1	感染症および寄生虫症①	感染症総論 (1) 分類
	2	感染症および寄生虫症②	感染症総論 (2) 伝染性感染症と医療体制
	3	感染症および寄生虫症③	感染症総論 (3) 日和見感染症
	4	感染症および寄生虫症④	感染症総論 (4) 性感染症
	5	感染症および寄生虫症⑤	感染症各論 (1) 通常見られる感染症 1
	6	感染症および寄生虫症⑥	感染症各論 (2) 通常見られる感染症 2
	7	感染症および寄生虫症⑦	感染症各論 (3) 通常見られる感染症 3
	8	感染症および寄生虫症⑧	感染症各論 (4) 寄生虫疾患 1
	9	感染症および寄生虫症⑨	感染症各論 (5) 寄生虫疾患 2
	10	感染症および寄生虫症⑩	感染症各論 (6) 寄生虫疾患 3
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	42
授業科目	臨床医学各論Ⅱ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	新生物における疾病の特徴・症状・治療法等を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	適切なICD分類に結びつく基本的知識を修得する
教科書	診療情報管理Ⅰ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	1 新生物① 新生物とは：その定義 2 新生物② 新生物の種類：部位、症状等（1） 3 新生物③ 新生物の種類：部位、症状等（2） 4 新生物④ 新生物の種類：部位、症状等（3） 5 新生物⑤ 悪性新生物と良性新生物 6 新生物⑥ 検査方法、識別方法（1） 7 新生物⑦ 検査方法、識別方法（2） 8 新生物⑧ 検査方法、識別方法（3） 9 新生物⑨ 治療、臨床検査等（1） 10 新生物⑩ 治療、臨床検査等（2）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	43	
授業科目	臨床医学各論Ⅲ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	血液・代謝・内分泌等の障害による各疾病についてそれらの特徴・症状・治療法等を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	重要な全身疾患群の基本的知識を修得する	
教科書	診療情報管理Ⅰ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）	
特記		
授業計画	1	血液・代謝・内分泌等① 血液および造血器疾患（1）
	2	血液・代謝・内分泌等② 血液および造血器疾患（2）
	3	血液・代謝・内分泌等③ 膠原病・リウマチ性疾患（1）
	4	血液・代謝・内分泌等④ 膠原病・リウマチ性疾患（2）
	5	血液・代謝・内分泌等⑤ 代謝性疾患（1）
	6	血液・代謝・内分泌等⑥ 代謝性疾患（2）
	7	血液・代謝・内分泌等⑦ 代謝性疾患（3）
	8	血液・代謝・内分泌等⑧ 内分泌疾患（1）
	9	血液・代謝・内分泌等⑨ 内分泌疾患（2）
	10	血液・代謝・内分泌等⑩ 内分泌疾患（3）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	44	
授業科目	臨床医学各論Ⅳ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	部位別、臓器別疾病について、その特徴、症状、治療法等の概要を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	各種診療記録の記載などを理解し、適切な病歴診断名につなげる知識を修得する	
教科書	診療情報管理Ⅰ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）	
特記		
授業計画	1	精神・脳神経・感覚器等① 中枢神経と末梢神経（1）
	2	精神・脳神経・感覚器等② 中枢神経と末梢神経（2）
	3	精神・脳神経・感覚器等③ 脳疾患・脳血管疾患（1）
	4	精神・脳神経・感覚器等④ 脳疾患・脳血管疾患（2）
	5	精神・脳神経・感覚器等⑤ 感覚器疾患（1）
	6	精神・脳神経・感覚器等⑥ 感覚器疾患（2）
	7	精神・脳神経・感覚器等⑦ 感覚器疾患（3）
	8	精神・脳神経・感覚器等⑧ 精神および行動の障害（1）
	9	精神・脳神経・感覚器等⑨ 精神および行動の障害（2）
	10	精神・脳神経・感覚器等⑩ 精神および行動の障害（3）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	45
授業科目	臨床医学各論V
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	循環器・呼吸器系の疾病について、その特徴、症状、治療法等の概要を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	各種診療記録の記載などを理解し、適切な病歴診断名につなげる知識を修得する
教科書	診療情報管理 I、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	1 循環器疾患① 心臓疾患：先天性心疾患、冠動脈疾患、不整脈、特発性心筋症（1） 2 循環器疾患② 心臓疾患：先天性心疾患、冠動脈疾患、不整脈、特発性心筋症（2） 3 循環器疾患③ 血圧異常：本態性高血圧、二次性高血圧 4 循環器疾患④ 血管疾患：脳血管疾患、末梢動脈疾患、静脈疾患、肺動脈疾患（1） 5 循環器疾患⑤ 血管疾患：脳血管疾患、末梢動脈疾患、静脈疾患、肺動脈疾患（2） 6 呼吸器疾患① 感染症（1） 7 呼吸器疾患② 感染症（2） 8 呼吸器疾患③ 呼吸不全（1） 9 呼吸器疾患④ 呼吸不全（2） 10 呼吸器疾患⑤ 換気障害
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	46	
授業科目	臨床医学各論VI	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	消化器系・泌尿器系の疾病について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	消化器系・泌尿器系の疾病の特徴や治療法等を理解する	
教科書	診療情報管理 I、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）	
特記		
授業計画	1	消化管疾患①
	2	消化管疾患②
	3	消化管疾患③
	4	肝臓・胆嚢・膵臓疾患①
	5	肝臓・胆嚢・膵臓疾患②
	6	肝臓・胆嚢・膵臓疾患③
	7	腎臓疾患①
	8	腎臓疾患②
	9	泌尿器系疾患①
	10	泌尿器系疾患②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	47	
授業科目	臨床医学各論Ⅶ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	周産期疾病について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	周産期疾病の特徴や治療法等を理解する	
教科書	診療情報管理Ⅰ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）	
特記		
授業計画	1	妊婦と出産①
	2	妊婦と出産②
	3	正常分娩と異常分娩①
	4	正常分娩と異常分娩②
	5	正常分娩と異常分娩③
	6	妊娠、分娩、産褥に関連する疾患①
	7	妊娠、分娩、産褥に関連する疾患②
	8	妊娠、分娩、産褥に関連する疾患③
	9	妊娠、分娩、産褥に関連する疾患④
	10	新生児特有の疾患①
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	48
授業科目	臨床医学各論Ⅷ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	皮膚・筋骨格系疾病について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	皮膚・筋骨格系疾病の特徴や治療法等を理解する
教科書	診療情報管理Ⅰ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	1 運動機能① 2 運動機能② 3 筋肉の疾患① 4 筋肉の疾患② 5 骨の疾患① 6 骨の疾患② 7 骨の疾患③ 8 皮膚疾患① 9 皮膚疾患② 10 皮膚疾患③
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	49	
授業科目	医学・医療用語	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	医学用語について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	医学用語を理解し、専門分野でのコミュニケーションに対応する	
教科書	診療情報管理Ⅱ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）	
特記		
授業計画	1	医学用語の基礎①
	2	医学用語の基礎②
	3	解剖・機能の用語①
	4	解剖・機能の用語②
	5	症状・症候の用語①
	6	症状・症候の用語②
	7	症状・症候の用語③
	8	検査の用語
	9	診断の用語
	10	治療の用語
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	50	
授業科目	医学管理総論	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	「人的資源」「物的資源」「財的資源」を具体的に理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	医療の実務に対応するための知識を充実させる	
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）	
特記		
授業計画	1	医学管理総論① 診療情報管理と診療情報管理士
	2	医学管理総論② 医療資源
	3	医学管理総論③ 日本の医療制度（1）医療保障
	4	医学管理総論④ 日本の医療制度（2）医療制度の特徴と成り立ち
	5	医学管理総論⑤ 日本の医療制度（3）諸外国の医療制度、国民医療費の現状と将来
	6	医学管理総論⑥ 医療の需要と供給
	7	医学管理総論⑦ 地域医療（医療供給体制）
	8	医学管理総論⑧ 医療関連の法規定（1）
	9	医学管理総論⑨ 医療関連の法規定（2）
	10	医学管理総論⑩ 医療関連の法規定（3）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	51
授業科目	医療管理各論 I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	病院を的確に維持、運営していくうえで重要な項目について基礎的な知識を身につける
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	さまざまな医療専門職を有効に結びつけるために医療管理の必要性を理解する
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 病院の経営管理① 病院経営管理 2 病院の経営管理② 組織と機能・管理と組織 3 病院の経営管理③ 財務・経営・人事・労務・施設管理 4 医療管理① 医療・診療・看護部門 5 医療管理② 教育研究・診療情報管理・事務部門 6 医療管理③ 施設・機器維持管理 7 医療管理④ 労働安全衛生・環境衛生管理部門 8 医療管理⑤ ハウスキーピング部門 9 チーム医療① チーム医療とは 10 チーム医療② チーム医療の主な活動・チーム医療の推進
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	52
授業科目	医療管理各論Ⅱ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	診療情報管理士として修得すべき基本的かつ実務的な医療保険制度・介護保険制度について知識を深める
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療記録を基にした診療情報管理から診療報酬請求に関する領域まで、医事業務に関する知識を習得する
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療保険制度① 医療保険の種類と保険給付・保険給付外 2 医療保険制度② 診療報酬制度 3 医療保険制度③ 保険診療と医療費の支払いの仕組み 4 医療保険制度④ 診療報の請求について 5 わが国の診断群分類① ケースミックス区分法と診断群分類 6 わが国の診断群分類② 診断群分類誕生の背景 7 わが国の診断群分類③ DPC 8 わが国の診断群分類④ DPCと包括評価 9 介護保険制度の概要① 10 介護保険制度の概要②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	53
授業科目	医療管理各論Ⅲ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	医療機関がとっている医療安全対策の基本要項を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	実際に現場で活動するための知識を身につける
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 安全管理① 医療安全概論 2 安全管理② 医療におけるリスクマネジメント 3 安全管理③ ヒューマンエラー 4 安全管理④ 医療事故と医療過誤、医事紛争 5 医療の質管理① 医療の質と保証・チーム医療における診療情報共有 6 医療の質管理② 医療のマネジメントシステム・医療の質の評価と公表 7 診療情報管理における診療報酬請求データの活用① 医療マーケティング 8 診療情報管理における診療報酬請求データの活用② 診療情報管理におけるデータの活用 9 診療情報管理における診療報酬請求データの活用③ 電子カルテと医事会計データ 10 診療情報管理における診療報酬請求データの活用④ 診療情報管理データと医事会計データ
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	54
授業科目	保健医療情報学
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	医療情報学について学び、ITを活用した診療情報がいかに医療の質に貢献しているかを知る
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療データ・診療情報を有効かつ的確に処理できる能力を身に付ける
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療情報学とは 2 医療情報の特徴と種類 3 情報とシステム 4 ITの基礎 5 行政の動向に見る医療情報化の流れ 6 医療情報システム 7 医療情報の標準化の動向 8 意思決定支援 9 医療データの評価 10 情報セキュリティ
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	55
授業科目	医療統計 I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	診療情報の収取、整理、集計、分析を行い判断を下す資料作成の重要性を知る
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療情報を活用する手段として、統計的な考え方、データ処理の基礎を身につける
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 統計的方法 2 データの要約 3 確立と確率分布・正規分布 4 2つの変数の相関 5 統計学的推測の基礎① 母集団と標本の考え方・母集団の特徴に関する記述 6 統計学的推測の基礎② 正規分布・母平均の区間推定 7 統計的仮設検定 8 仮設検定にともなう2種類の誤り 9 よく使う検定手法 10 2つの量的変数の関係
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	56	
授業科目	医療統計Ⅱ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	グラフ表現や一般的に用いられる病院統計、疾病統計について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	臨床研究の主な手法と研究を行うにあたっての倫理的な側面を学ぶ	
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）	
特記		
授業計画	1	データのグラフ表現① データの視覚化（1）
	2	データのグラフ表現② データの視覚化（2）
	3	データのグラフ表現③ 各種のグラフとその用途（1）
	4	データのグラフ表現④ 各種のグラフとその用途（2）
	5	病院の統計資料① 病院統計の作成とその意義
	6	病院の統計資料② 主な統計調査と評価指標
	7	病院の統計資料③ 主な医療評価指標
	8	病院の統計資料④ 経営管理指標
	9	臨床研究の主な手法と医学系研究に関する倫理指針① コホート研究と症例対照研究
	10	臨床研究の主な手法と医学系研究に関する倫理指針② 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	57
授業科目	診療情報管理 I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	診療情報管理の意義や役割について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療情報管理士に必要な法令や諸規則の基本事項についての知識を習得する
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	1 診療情報管理の意義と役割① 用語の定義・診療記録の価値 2 診療情報管理の意義と役割② 診療情報管理の役割 3 診療情報管理の歴史 4 診療情報管理と法規等① 診療記録の記載と保存 5 診療情報管理と法規等② 電子化等に関する法規 6 診療情報管理と法規等③ 医療事故にともなう法的責任 7 診療情報管理と法規等④ 診療情報の守秘に関する法規、 個人情報の保護に関する法規 8 診療情報管理と法規等⑤ 個人情報の取り扱い、診療情報の提供等 9 診療記録の記載方式 10 診療情報の記載
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	58
授業科目	診療情報管理Ⅱ
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	診療情報管理士の実務について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療情報管理士の基本的な在り方、および実施方法についての知識を習得する
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 診療情報管理士について 2 診療情報管理士に求められる資質 3 診療情報管理士の基本業務 4 個人情報保護の視点からの保管管理 5 紙カルテ運用における診療情報管理 6 電子カルテ運用における診療情報管理① 7 電子カルテ運用における診療情報管理② 8 診療情報の提供に係る業務 9 診療情報管理士による改善への取り組み 10 診療情報管理士の活動組織
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	59	
授業科目	診療情報管理Ⅲ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	DPC/PDPS・医師事務作業補助者・がん登録の実務について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	診療情報管理士として学んだことを生かす応用的な業務の知識を深める	
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）	
特記		
授業計画	1	DPC制度と実務① DPCと診療情報管理士の関わり
	2	DPC制度と実務② 影響調査と診療情報管理士
	3	DPC制度と実務③ 病院情報の公表と診療情報管理士
	4	DPC制度と実務④ データ精度と診療情報管理士
	5	DPC制度と実務⑤ DPCデータの活用
	6	医師事務作業補助者の業務① 医師事務作業補助者の業務と体制
	7	医師事務作業補助者の業務② 医師事務作業補助者と診療情報管理士の関わり
	8	がん登録の実務について① わが国のがん対策とがん登録
	9	がん登録の実務について② がん登録
	10	レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）について
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	60
授業科目	国際統計分類 I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	診療情報管理の意義や役割について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療情報管理士に必要な法令や諸規則の基本事項についての知識を習得する
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	1 国際疾病分類論① わが国の人口動態統計 2 国際疾病分類論② 国際疾病分類の歴史 3 国際疾病分類論③ 国際疾病分類の現状 4 国際疾病分類論④ 国際疾病分類の構造 5 国際統計分類ファミリー論① 国際統計分類ファミリーの概念と構想 6 国際統計分類ファミリー論② 国際統計分類ファミリーに含まれる分類（1） 7 国際統計分類ファミリー論③ 国際統計分類ファミリーに含まれる分類（2） 8 国際疾病分類の利用① 原死因選択ルール 9 国際疾病分類の利用② 主要病態のコーディングと再選択ルール 10 国際疾病分類の利用③ 診断群分類における国際疾病分類の利用
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	61
授業科目	国際統計分類Ⅱ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	診療情報管理の意義や役割について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療情報管理士に必要な法令や諸規則の基本事項についての知識を習得する
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	1 国際疾病分類の基本① コーディングをはじめるにあたって 2 国際疾病分類の基本② ICD-10 準拠の概説 3 国際疾病分類の基本③ (ICD) 編さんの基準とその特徴 4 国際疾病分類の基本④ 内容例示表と索引表の使用方法 5 国際統計分類の基本⑤ 複数病態分類・複合病態分類及び二重分類(1) 6 国際統計分類の基本⑥ 複数病態分類・複合病態分類及び二重分類(2) 7 国際統計分類の基本⑦ 内容例示表・索引表で用いられている表示記号と符合 8 国際疾病分類の基本⑧ 用語の定義及び傷病名の構成 9 国際疾病分類の基本⑨ 傷病名のコード索引方法 10 国際疾病分類の基本⑩ コーディング支援ソフトウェアの利用
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	62
授業科目	国際統計分類Ⅲ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	診療情報管理の意義や役割について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療情報管理士に必要な法令や諸規則の基本事項についての知識を習得する
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	1 疾病分類体系の理解① 感染症・寄生虫症・新生物（腫瘍） 2 疾病分類体系の理解② 血液、造血器の疾患・免疫機構の障害 3 疾病分類体系の理解③ 内分泌、栄養及び代謝・精神、行動の障害・神経系の疾患 4 疾病分類体系の理解④ 眼、付属器・耳、乳様突起・皮膚、皮下組織の疾患 5 疾病分類体系の理解⑤ 循環器・呼吸器・消化器、腎尿路生殖器系の疾患 6 疾病分類体系の理解⑥ 先天奇形、変形、染色体異常・異常臨床所見 7 疾病分類体系の理解⑦ 妊娠、分娩、産褥、周産期の疾患 8 疾病分類体系の理解⑧ 損傷・中毒・筋骨格系・結合組織の疾患 9 疾病分類体系の理解⑨ 死亡の外因、原死因コーディング 10 疾病分類体系の理解⑩ 退院時サマリ
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	63
授業科目	診療情報管理士対策演習 I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	120時間
授業コマ数	60コマ
授業概要	診療情報管理の意義や役割について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療情報管理士として必要な基礎知識や医学知識を習得
教科書	診療情報管理 I、診療情報管理 II、診療情報管理士教育問題集 (一般社団法人日本病院会)
特記	
授業計画	1 医療概論① (医学と医療、医の倫理) 2 医療概論② (脳死と臓器移植、診療情報提供) 3 医療概論③ (社会保障制度、医療制度) 4 医療概論④ (医療関連法規、地域保健と公衆衛生) 5 医療概論⑤ (包括医療 (保険、医療、福祉)) 6 人体構造・機能論① (細胞、組織) 7 人体構造・機能論② (器官) 8 人体構造・機能論③ (呼吸器の構造と機能、循環器の構造と機能) 9 人体構造・機能論④ (消化器の構造と機能) 10 人体構造・機能論⑤ (泌尿器系の構造と機能、上肢・下肢の骨と筋肉) 11 臨床医学総論① (健康と疾病、疾病の原因) 12 臨床医学総論② (病気による組織・臓器の病的变化、病気の診断) 13 臨床医学総論③ (検査所見、治療方針) 14 臨床医学総論④ (先天奇形、変形および染色体異常) 15 臨床医学総論⑤ (損傷、中毒、その他の外因の影響) 16 臨床医学各論 I ① (感染症および寄生虫症A00-A28) 17 臨床医学各論 I ② (感染症および寄生虫症A30-A74) 18 臨床医学各論 I ③ (感染症および寄生虫症A75-A99) 19 臨床医学各論 I ④ (感染症および寄生虫症B00-B34) 20 臨床医学各論 I ⑤ (感染症および寄生虫症B35-B89) 21 臨床医学各論 II ① (新生物C00-C39) 22 臨床医学各論 II ② (新生物C40-C49) 23 臨床医学各論 II ③ (新生物C50-C63) 24 臨床医学各論 II ④ (新生物C64-C96) 25 臨床医学各論 II ⑤ (新生物D00-D36) 26 臨床医学各論 III ① (血液・代謝・内分泌D50-D64) 27 臨床医学各論 III ② (血液・代謝・内分泌D65-D89) 28 臨床医学各論 III ③ (血液・代謝・内分泌E00-E16) 29 臨床医学各論 III ④ (血液・代謝・内分泌E20-E64) 30 臨床医学各論 III ⑤ (血液・代謝・内分泌E65-E90) 31 臨床医学各論 IV ① (精神および行動F00-F98) 32 臨床医学各論 IV ② (神経系の疾患G00-G47) 33 臨床医学各論 IV ③ (神経系の疾患G50-G99) 34 臨床医学各論 IV ④ (眼および付属器の疾患H00-H52) 35 臨床医学各論 IV ⑤ (耳および乳様突起の疾患H60-H95) 36 臨床医学各論 V ① (循環器系の疾患I00-I15) 37 臨床医学各論 V ② (循環器系の疾患I20-I52) 38 臨床医学各論 V ③ (循環器系の疾患I60-I99) 39 臨床医学各論 V ④ (呼吸器系の疾患J00-J47) 40 臨床医学各論 V ⑤ (呼吸器系の疾患J60-J99) 41 臨床医学各論 VI ① (消化器系の疾患K00-K38) 42 臨床医学各論 VI ② (消化器系の疾患K40-K63) 43 臨床医学各論 VI ③ (消化器系の疾患K65-K93) 44 臨床医学各論 VI ④ (腎尿路生殖器系の疾患N00-N29) 45 臨床医学各論 VI ⑤ (腎尿路生殖器系の疾患N30-N98) 46 臨床医学各論 VII ① (分娩および産じょくO00-O16) 47 臨床医学各論 VII ② (分娩および産じょくO20-O48) 48 臨床医学各論 VII ③ (分娩および産じょくO60-O84) 49 臨床医学各論 VII ④ (分娩および産じょくO85-O92) 50 臨床医学各論 VII ⑤ (産産期に発生した病態P00-P96) 51 臨床医学各論 VIII ① (皮膚および皮下組織の疾患L00-L30) 52 臨床医学各論 VIII ② (皮膚及び皮下組織の疾患L40-L59) 53 臨床医学各論 VIII ③ (皮膚および皮下組織の疾患L60-L99、C44) 54 臨床医学各論 VIII ④ (筋骨格系M00-M54) 55 臨床医学各論 VIII ⑤ (筋骨格系M60-M94) 56 医学・医療用語① (造語の基本、主な接頭語) 57 医学・医療用語② (主な接尾語、用語についての基本的な考え方) 58 医療・医療用語③ (医学用語集) 59 医療・医療用語④ (医療用語集) 60 模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
成績評価基準	秀: 90点以上、優: 80点以上、良: 70点以上、可: 60点以上、不可: 60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	64
授業科目	診療情報管理士対策演習Ⅱ
実務家教員授業	—
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	120時間
授業コマ数	60コマ
授業概要	診療情報管理の意義や役割について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療情報管理士として必要な専門知識を習得
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療管理総論①（医療資源） 2 医療管理総論②（日本の医療制度） 3 医療管理総論③（医療の需要と供給） 4 医療管理総論④（地域医療（医療供給体制）） 5 医療管理総論⑤（医療関連の法規定） 6 医療管理各論Ⅰ①（病院経営管理、プロセス、組織と機能） 7 医療管理各論Ⅰ②（管理と組織、財務・経営管理、施設管理） 8 医療管理各論Ⅰ③（医療管理～診療情報管理部門） 9 医療管理各論Ⅰ④（スタッフ機能事務部門～ハウスキーピング部門） 10 医療管理各論Ⅰ⑤（チーム医療） 11 医療管理各論Ⅱ①（医療保険の種類と保険給付・保険外給付、診療報酬請求） 12 医療管理各論Ⅱ②（保険診療と医療費の支払いの仕組み、診療報酬の請求） 13 医療管理各論Ⅱ③（ケースミックス区分法と診断群分類、診断群分類誕生の背景） 14 医療管理各論Ⅱ④（DPC、DPCと包括評価） 15 医療管理各論Ⅱ⑤（介護保険制度の概要） 16 医療管理各論Ⅲ①（安全管理） 17 医療管理各論Ⅲ②（医療の質と保証、チーム医療における診療情報共有） 18 医療管理各論Ⅲ③（医療の質マネジメントシステム、医療の質の評価と公表） 19 医療管理各論Ⅲ④（医療マーケティング、診療情報管理におけるデータの活用） 20 医療管理各論Ⅲ⑤（電子カルテ・オーダー・医事会計データ、診療情報管理データ） 21 保健医療情報学①（保健医療情報学とは、医療情報の特徴と種類） 22 保健医療情報学②（行政が進める保健医療の情報化政策、医療情報システム） 23 保健医療情報学③（診療情報の二次利用、個人が管理する保健医療記録） 24 保健医療情報学④（医療情報の情報化、情報セキュリティ） 25 保健医療情報学⑤（保健医療の情報化のこれから、人を対象とする医学系研究） 26 医療統計Ⅰ①（医療統計学の基本的な用語、データを要約する） 27 医療統計Ⅰ②（確率と確率分布、正規分布） 28 医療統計Ⅰ③（2つの変数の相関を調べる、回帰分析） 29 医療統計Ⅰ④（推測統計の基礎、推定） 30 医療統計Ⅰ⑤（仮説検定、医学でよく使う仮説検定） 31 医療統計Ⅱ①（データのグラフ表現） 32 医療統計Ⅱ②（病院統計の作成とその意義、主な統計調査と評価指標） 33 医療統計Ⅱ③（主な医療評価指標、経営管理指標） 34 医療統計Ⅱ④（臨床研究の主な手法） 35 診療情報管理Ⅰ①（診療情報管理の意義と役割） 36 診療情報管理Ⅰ②（診療情報管理の歴史） 37 診療情報管理Ⅰ③（診療情報管理と法規等） 38 診療情報管理Ⅰ④（診療記録の記載方式） 39 診療情報管理Ⅰ⑤（診療情報の記載） 40 診療情報管理Ⅱ①（診療情報管理士について、診療情報管理士に求められる資質） 41 診療情報管理Ⅱ②（診療情報管理士の基本業務、個人情報保護の視点から保管管理） 42 診療情報管理Ⅱ③（紙カルテ運用における診療情報管理） 43 診療情報管理Ⅱ④（電子カルテ運用における診療情報管理、診療情報の提供に係る業務） 44 診療情報管理Ⅱ⑤（診療情報管理士による改善への取り組み、診療情報管理士の活動組織） 45 診療情報管理Ⅲ①（DPC制度と実務①） 46 診療情報管理Ⅲ②（DPC制度と実務②） 47 診療情報管理Ⅲ③（DPC制度と実務③） 48 診療情報管理Ⅲ④（医師事務作業補助者業務について） 49 診療情報管理Ⅲ⑤（がん登録の実務について） 50 国際統計分類Ⅰ①（わが国の人口動態統計、ICDの歴史） 51 国際統計分類Ⅰ②（ICDの現状、ICDの構造） 52 国際統計分類Ⅰ③（国際統計分類ファミリー論） 53 国際統計分類Ⅰ④（原因選択ルール） 54 国際統計分類Ⅰ⑤（主要病態のコーディングと再選択ルール、ICDを用いるうえでの注意点） 55 国際統計分類Ⅱ①（国際疾病分類の基本①） 56 国際統計分類Ⅱ②（国際疾病分類の基本②） 57 国際統計分類Ⅱ③（各章の疾病分類体系の理解①） 58 国際統計分類Ⅱ④（各章の疾病分類体系の理解②） 59 国際統計分類Ⅱ⑤（各章の疾病分類体系の理解③） 60 模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	65
授業科目	診療情報管理士対策演習Ⅲ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	90時間
授業コマ数	45コマ
授業概要	診療情報管理の意義や役割について学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	診療情報管理士として必要な基礎知識や医学知識を習得
教科書	診療情報管理Ⅰ、診療情報管理Ⅱ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）、配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療概論①（復習：医学と医療～脳死と臓器移植） 2 医療概論②（復習：診療情報提供～医療制度） 3 医療概論③（復習：医療関連法規～包括医療） 4 医療概論④確認テスト 5 人体構造・機能論①（復習：細胞～呼吸器の構造と機能） 6 人体構造・機能論②（復習：循環器の構造と機能～上肢・下肢の骨と筋肉） 7 人体構造・機能論③確認テスト 8 臨床医学総論①（復習：病気になる原因） 9 臨床医学総論②（復習：先天奇形、変形および染色体異常） 10 臨床医学総論③（復習：損傷、中毒、その他の外因の影響） 11 臨床医学総論④確認テスト 12 臨床医学各論Ⅰ①（復習：感染症および寄生虫症A00-A69） 13 臨床医学各論Ⅰ②（復習：感染症および寄生虫症A70-B19） 14 臨床医学各論Ⅰ③（復習：感染症および寄生虫症B20-B89） 15 臨床医学各論Ⅰ④確認テスト 16 臨床医学各論Ⅱ①（復習：新生物C00-C50） 17 臨床医学各論Ⅱ②（復習：新生物C51-D36） 18 臨床医学各論Ⅱ③確認テスト 19 臨床医学各論Ⅲ①（復習：血液・代謝・内分泌等D50-D89） 20 臨床医学各論Ⅲ②（復習：血液・代謝・内分泌等E00-E35） 21 臨床医学各論Ⅲ③（復習：血液・代謝・内分泌等E40-E90） 22 臨床医学各論Ⅲ④確認テスト 23 臨床医学各論Ⅳ①（復習：精神および行動の障害F00-F98） 24 臨床医学各論Ⅳ②（復習：神経系の疾患G00-G99） 25 臨床医学各論Ⅳ③（復習：眼および付属器・耳および乳様突起の疾患H00-H95） 26 臨床医学各論Ⅳ④確認テスト 27 臨床医学各論Ⅴ①（復習：循環器系の疾患I00-I52） 28 臨床医学各論Ⅴ②（復習：循環器系の疾患I60-I89） 29 臨床医学各論Ⅴ③（復習：呼吸器系の疾患J00-J99） 30 臨床医学各論Ⅴ④確認テスト 31 臨床医学各論Ⅵ①（復習：消化器系の疾患K00-K52） 32 臨床医学各論Ⅵ②（復習：消化器系の疾患K55-K93） 33 臨床医学各論Ⅵ③（復習：腎尿路生殖器系の疾患N00-N99） 34 臨床医学各論Ⅵ④確認テスト 35 臨床医学各論Ⅶ①（復習：妊娠、分娩および産じょく000-099） 36 臨床医学各論Ⅶ②（復習：周産期に発生した病態P00-P96） 37 臨床医学各論Ⅶ③確認テスト 38 臨床医学各論Ⅷ①（復習：皮膚および皮下組織の疾患L00-L54） 39 臨床医学各論Ⅷ②（復習：皮膚および皮下組織の疾患L55-L99） 40 臨床医学各論Ⅷ③（復習：筋骨格系M00-M99） 41 臨床医学各論Ⅷ④確認テスト 42 医学・医療用語①（復習：医学用語） 43 医学・医療用語②（復習：医療用語） 44 医学・医療用語③確認テスト 45 本科統一模試
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	66
授業科目	診療情報管理士対策演習Ⅳ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	診療情報管理の意義や役割について学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	診療情報管理士として必要な専門知識を習得
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）、配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療管理総論①復習 2 医療管理総論②確認テスト 3 医療管理各論Ⅰ①（復習：病院管理） 4 医療管理各論Ⅰ②確認テスト 5 医療管理各論Ⅱ①（復習：医療保険・介護保険制度） 6 医学管理各論Ⅱ②確認テスト 7 医療管理各論Ⅲ①（復習：医療安全・医療の質管理） 8 医療管理各論Ⅲ②確認テスト 9 保健医療情報学①（復習：保健医療情報学とは～診療情報の二次利用） 10 保健医療情報学②（復習：個人が管理する保健医療記録～人を対象とする医学系研究） 11 保健医学情報学③確認テスト 12 医療統計Ⅰ①（復習：医療統計学の基本的な用語～2つの変数の相関を調べる） 13 医療統計Ⅰ②（復習：回帰分析～医学でよく使う仮説検定） 14 医療統計Ⅰ③確認テスト 15 医療統計Ⅱ①（復習：病院統計・疾病統計） 16 医療統計Ⅱ②確認テスト 17 診療情報管理Ⅰ①（復習：診療情報管理の意義と役割～診療情報管理と法規等） 18 診療情報管理Ⅰ②（復習：診療記録の記載方式～診療情報の記載） 19 診療情報管理Ⅰ③確認テスト 20 診療情報管理Ⅱ①（復習：診療情報管理士の実務） 21 診療情報管理Ⅱ②確認テスト 22 診療情報管理Ⅲ①（復習：DPC・医師事務作業補助者・がん登録の実務） 23 診療情報管理Ⅲ②確認テスト 24 国際統計分類Ⅰ①（復習：国際疾病分類論～国際統計ファミリー論） 25 国際統計分類Ⅰ②（復習：国際疾病分類の利用） 26 国際統計分類Ⅰ③確認テスト 27 国際統計分類Ⅱ①（復習：国際疾病分類の基本） 28 国際統計分類Ⅱ②（復習：各章の疾病分類体系の理解） 29 国際疾病統計Ⅱ③確認テスト 30 本科統一模試
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	67	
授業科目	診療情報管理士対策演習V	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	診療情報管理の意義や役割について学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	診療情報管理士に必要な法令や諸規則の基本事項についての知識を習得する	
教科書	診療情報管理I、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）、配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	診療情報管理士教育問題集 基礎医学編 1章演習
	2	項目別答練基礎医学1章
	3	診療情報管理士教育問題集 基礎医学編 2章演習
	4	項目別答練基礎医学2章
	5	診療情報管理士教育問題集 基礎医学編 3章演習
	6	項目別答練基礎医学3章
	7	診療情報管理士教育問題集 基礎医学編 4章演習
	8	項目別答練基礎医学4章
	9	診療情報管理士教育問題集 基礎医学編 5章演習
	10	項目別答練基礎医学5章
	11	診療情報管理士教育問題集 基礎医学編 6章演習
	12	診療情報管理士教育問題集 基礎医学編 6章演習
	13	項目別答練基礎医学6章
	14	診療情報管理士教育問題集 基礎医学編 7章演習
	15	診療情報管理士教育問題集 基礎医学編 7章演習
	16	項目別答練基礎医学7章
	17	診療情報管理士教育問題集 基礎医学編 8章演習
	18	診療情報管理士教育問題集 基礎医学編 8章演習
	19	項目別答練基礎医学8章
	20	診療情報管理士教育問題集 基礎医学編 9章演習
	21	診療情報管理士教育問題集 基礎医学編 9章演習
	22	項目別答練基礎医学9章
	23	診療情報管理士教育問題集 基礎医学編 10章演習
	24	項目別答練基礎医学10章
	25	診療情報管理士教育問題集 基礎医学編 11章演習
	26	項目別答練基礎医学11章
	27	診療情報管理士教育問題集 基礎医学編 1章～6章演習
	28	診療情報管理士教育問題集 基礎医学編 1章～12章演習
	29	模擬試験 基礎医学 1章～6章
	30	模擬試験 基礎医学 7章～11章
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	68	
授業科目	診療情報管理士対策演習VI	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	診療情報管理の意義や役割について学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	診療情報管理士に必要な法令や諸規則の基本事項についての知識を習得する	
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）、配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	診療情報管理士教育問題集 専門 1章演習
	2	項目別答練専門1章
	3	診療情報管理士教育問題集 専門 2章演習
	4	項目別答練専門2章
	5	診療情報管理士教育問題集 専門 3章演習
	6	項目別答練専門3章
	7	診療情報管理士教育問題集 専門 4章演習
	8	項目別答練専門4章
	9	診療情報管理士教育問題集 専門 5章演習
	10	診療情報管理士教育問題集 専門 5章演習
	11	項目別答練専門5章
	12	診療情報管理士教育問題集 専門 6章演習
	13	項目別答練専門6章
	14	診療情報管理士教育問題集 専門 7章演習
	15	項目別答練専門7章
	16	診療情報管理士教育問題集 専門 8章演習
	17	項目別答練専門8章
	18	診療情報管理士教育問題集 専門 9章演習
	19	項目別答練専門9章
	20	診療情報管理士教育問題集 専門 10章演習
	21	項目別答練専門10章
	22	診療情報管理士教育問題集 専門 11章演習
	23	項目別答練専門11章
	24	診療情報管理士教育問題集 専門 12章演習
	25	診療情報管理士教育問題集 専門 12章演習
	26	項目別答練専門12章
	27	診療情報管理士教育問題集 専門 1章～6章演習
	28	診療情報管理士教育問題集 専門 7章～12章演習
	29	模擬試験 専門 1章～6章
	30	模擬試験 専門 7章～12章
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	69
授業科目	診療情報管理士対策演習Ⅶ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	演習を積み、本試験の出題形式に慣れる
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	診療情報管理士取得に必要な知識の総復習を行い、弱点を克服する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 基礎答練1回 基礎科目 2 基礎答練1回 専門科目 3 基礎答練2回 基礎科目 4 基礎答練2回 専門科目 5 演習 6 基礎答練3回 基礎科目 7 基礎答練3回 専門科目 8 基礎答練4回 基礎科目 9 基礎答練4回 専門科目 10 演習 11 基礎答練5回 基礎科目 12 基礎答練5回 専門科目 13 基礎答練6回 基礎科目 14 基礎答練6回 専門科目 15 演習
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	70	
授業科目	診療情報管理士対策演習Ⅷ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	基礎答練で身につけた知識をもとに、本試験の出題形式を攻略する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	知識として修得しているものを活用する	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	直前答練1回 基礎科目
	2	直前答練1回 専門科目
	3	直前答練2回 基礎科目
	4	直前答練2回 専門科目
	5	直前答練3回 基礎科目
	6	直前答練3回 専門科目
	7	直前答練4回 基礎科目
	8	直前答練4回 専門科目
	9	直前答練5回 基礎科目
	10	直前答練5回 専門科目
	11	直前答練6回 基礎科目
	12	直前答練6回 専門科目
	13	演習
	14	模擬試験1回 基礎科目
	15	模擬試験1回 専門科目
	16	模擬試験2回 基礎科目
	17	模擬試験2回 専門科目
	18	模擬試験3回 基礎科目
	19	模擬試験3回 専門科目
	20	模擬試験4回 基礎科目
	21	模擬試験4回 専門科目
	22	模擬試験5回 基礎科目
	23	模擬試験5回 専門科目
	24	模擬試験6回 基礎科目
	25	模擬試験6回 専門科目
	26	模擬試験7回 基礎科目
	27	模擬試験7回 専門科目
	28	模擬試験8回 基礎科目
	29	模擬試験8回 専門科目
	30	演習
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	71
授業科目	Excel基礎
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する
教科書	テキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ワークシートやブックの作成と管理① 2 ワークシートやブックの作成と管理② 3 セルやセル範囲のデータの管理① 4 セルやセル範囲のデータの管理② 5 テーブルの作成① 6 テーブルの作成② 7 テーブルの作成③ 8 関数を使用するデータの集計① 9 関数を使用するデータの集計② 10 関数を使用するデータの集計③ 11 関数を使用する条件付き計算① 12 関数を使用する条件付き計算② 13 関数を使用する条件付き計算③ 14 関数を使用した文字列の整形や変更① 15 関数を使用した文字列の整形や変更② 16 関数を使用した文字列の整形や変更③ 17 グラフの作成① 18 グラフの作成② 19 グラフの作成③ 20 グラフの書式設定① 21 グラフの書式設定② 22 グラフの書式設定③ 23 グラフの書式設定④ 24 グラフの書式設定⑤ 25 オブジェクトの挿入や書式設定① 26 オブジェクトの挿入や書式設定② 27 オブジェクトの挿入や書式設定③ 28 オブジェクトの挿入や書式設定④ 29 オブジェクトの挿入や書式設定⑤ 30 オブジェクトの挿入や書式設定⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	72
授業科目	Excel応用
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	MOS Excel試験に合格するために必要な操作に関する総合的な知識を身につけるための演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	Excelの主な機能を利用して、複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱うことができる
教科書	テキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ワークシートやブックの作成と管理 2 セルやセル範囲のデータの管理 3 テーブルの作成① 4 テーブルの作成② 5 関数を使用してのデータ集計① 6 関数を使用してのデータ集計② 7 関数を使用しての条件付き計算① 8 関数を使用しての条件付き計算② 9 関数を使用しての条件付き計算③ 10 関数を使用した文字列の整形や変更① 11 関数を使用した文字列の整形や変更② 12 グラフの作成① 13 グラフの作成② 14 グラフの書式設定 15 オブジェクトの挿入や書式設定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	73
授業科目	Word基礎
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1 文章の作成① 2 文章の作成② 3 文章内の移動① 4 文章内の移動② 5 文章の書式設定① 6 文章の書式設定② 7 文章の書式設定③ 8 文章の書式設定④ 9 オプションの設定、表示のカスタマイズ① 10 オプションの設定、表示のカスタマイズ② 11 オプションの設定、表示のカスタマイズ③ 12 オプションの設定、表示のカスタマイズ④ 13 文章の印刷、保存① 14 文章の印刷、保存② 15 文章の印刷、保存③ 16 文章の印刷、保存④ 17 文字列・段落の挿入① 18 文字列・段落の挿入② 19 文字列・段落の挿入③ 20 文字列・段落の挿入④ 21 文字列・段落の書式設定① 22 文字列・段落の書式設定② 23 文字列・段落の書式設定③ 24 文字列・段落の書式設定④ 25 文字列・段落の書式設定⑤ 26 文字列・段落の並び替え、グループ化① 27 文字列・段落の並び替え、グループ化② 28 文字列・段落の並び替え、グループ化③ 29 文字列・段落の並び替え、グループ化④ 30 文字列・段落の並び替え、グループ化⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	74
授業科目	Word応用
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する
教科書	テキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 表の作成 2 表の変更① 3 表の変更② 4 リストの作成、変更① 5 リストの作成、変更② 6 参照のための情報・記号の作成、管理① 7 参照のための情報・記号の作成、管理② 8 標準の参考資料作成、管理① 9 標準の参考資料作成、管理② 10 グラフィック要素の挿入① 11 グラフィック要素の挿入② 12 グラフィック要素の書式設定① 13 グラフィック要素の書式設定② 14 SmartArtの挿入、書式設定① 15 SmartArtの挿入、書式設定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	75
授業科目	Power Point基礎
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 プレゼンテーションの作成① 2 プレゼンテーションの作成② 3 スライドの挿入、書式設定① 4 スライドの挿入、書式設定② 5 配布資料、ノートの変更① 6 配布資料、ノートの変更② 7 配布資料、ノートの変更③ 8 スライドの並び替え、グループ化① 9 スライドの並び替え、グループ化② 10 スライドの並び替え、グループ化③ 11 オプションの変更① 12 オプションの変更② 13 オプションの変更③ 14 スライドショーの設定、実行① 15 スライドショーの設定、実行② 16 スライドショーの設定、実行③ 17 テキストの挿入、書式設定① 18 テキストの挿入、書式設定② 19 テキストの挿入、書式設定③ 20 図形・テキストボックスの挿入・書式設定① 21 図形・テキストボックスの挿入・書式設定② 22 図形・テキストボックスの挿入・書式設定③ 23 図の挿入、書式設定① 24 図の挿入、書式設定② 25 図の挿入、書式設定③ 26 図の挿入、書式設定④ 27 図形の並び替え、グループ化① 28 図形の並び替え、グループ化② 29 図形の並び替え、グループ化③ 30 図形の並び替え、グループ化④
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	76
授業科目	Power Point応用
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS PowerPointレベルの操作を習得する
教科書	テキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 表の挿入、設定 2 グラフの挿入、書式設定① 3 グラフの挿入、書式設定② 4 SmartArtの挿入、書式設定① 5 SmartArtの挿入、書式設定② 6 メディアの挿入、管理① 7 メディアの挿入、管理② 8 画面切り替えの設定① 9 画面切り替えの設定② 10 アニメーションの設定① 11 アニメーションの設定② 12 複数のコンテンツの結合① 13 複数のコンテンツの結合② 14 プレゼンテーションの保護、共有① 15 プレゼンテーションの保護、共有②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	77	
授業科目	パソコン実習 I	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を身につける実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	文書の作成と管理①
	2	文書の作成と管理②
	3	文書の作成と管理③
	4	一般的なビジネス文書の作成①
	5	一般的なビジネス文書の作成②
	6	一般的なビジネス文書の作成③
	7	シンプルなレポートや報告書の作成①
	8	シンプルなレポートや報告書の作成②
	9	シンプルなレポートや報告書の作成③
	10	表、画像、図形を使った文書の作成(1)①
	11	表、画像、図形を使った文書の作成(1)②
	12	表、画像、図形を使った文書の作成(1)③
	13	表、画像、図形を使った文書の作成(1)④
	14	表、画像、図形を使った文書の作成(1)⑤
	15	表、画像、図形を使った文書の作成(1)⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	78
授業科目	パソコン実習Ⅱ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 文章の作成と管理① 2 文章の作成と管理② 3 文章の作成と管理③ 4 表作成の基本操作① 5 表作成の基本操作② 6 表作成の基本操作③ 7 表、画像、図形を使った文書の作成(2)① 8 表、画像、図形を使った文書の作成(2)② 9 表、画像、図形を使った文書の作成(2)③ 10 見やすく使いやすい表にする編集操作① 11 見やすく使いやすい表にする編集操作② 12 見やすく使いやすい表にする編集操作③ 13 見やすく使いやすい表にする編集操作④ 14 見やすく使いやすい表にする編集操作⑤ 15 見やすく使いやすい表にする編集操作⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	79
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校と職場の違い① 2 学校と職場の違い② 3 学校と職場の違い③ 4 職場のマナー① 5 職場のマナー② 6 職場のマナー③ 7 仕事の進め方① 8 仕事の進め方② 9 仕事の進め方③ 10 報告、連絡、相談① 11 報告、連絡、相談② 12 報告、連絡、相談③ 13 挨拶① 14 挨拶② 15 挨拶③ 16 笑顔、お辞儀① 17 笑顔、お辞儀② 18 笑顔、お辞儀③ 19 敬語① 20 敬語② 21 敬語③ 22 応対の基本① 23 応対の基本② 24 応対の基本③ 25 電話応対① 26 電話応対② 27 電話応対③ 28 効果測定① 29 効果測定② 30 効果測定③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	80
授業科目	医療ビジネスマナー I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	基本的なビジネススキルの向上
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	身に付けた知識や技能を実際に仕事上で活かせるようになる
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 挨拶（言葉遣い）の必要性 2 基本的な言葉遣い 3 クッション言葉 4 状況に応じた言葉遣い 5 笑顔・お辞儀 6 基本的な電話応対 7 応用的な電話応対 8 電話応対演習① 9 電話応対演習② 10 電話応対演習③ 11 電話応対演習④ 12 電話応対演習⑤ 13 電話応対演習⑥ 14 電話応対演習⑦ 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	81
授業科目	請求事務実践Ⅱ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための応用的な知識の向上
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務の応用を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 個別問題(初診・再診) 2 個別問題(入院・食事) 3 個別問題(医学管理・投薬) 4 個別問題(注射・処置) 5 個別問題(手術・麻酔) 6 個別問題(検査・画像) 7 レセプト演習 外来① 8 レセプト演習 入院① 9 レセプト演習 外来② 10 レセプト演習 入院② 11 レセプト演習 外来③ 12 レセプト演習 入院③ 13 レセプト演習 外来④ 14 レセプト演習 入院④ 15 効果測定(外来・入院)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀:90点以上、優:80点以上、良:70点以上、可:60点以上、不可:60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	82
授業科目	社会保険基礎論
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	保険の基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	医療現場における様々な保険知識の理解をする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 医療保険について① 2 医療保険について② 3 後期高齢者医療制度① 4 後期高齢者医療制度② 5 公費① 6 公費② 7 介護保険① 8 介護保険② 9 自動車損害賠償保障法① 10 自動車損害賠償保障法② 11 労働者災害補償保険法① 12 労働者災害補償保険法② 13 レセプト点検・総括① 14 レセプト点検・総括② 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	83	
授業科目	医学知識	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	病院受付でも患者対応できるように医学的な基礎的知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	医学の基礎を理解する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1 生活習慣病・脂質異常症 2 高血圧症 3 動脈硬化症 4 狭心症・心筋梗塞 5 脳梗塞・脳出血 6 クモ膜下出血・感冒症候群 7 扁桃炎 8 肺炎・気管支炎 9 胃炎 10 胃・十二指腸潰瘍 11 胃癌 12 肝炎 13 肝硬変・肝癌 14 胆石症・膵炎 15 効果測定	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	84
授業科目	病院実習Ⅳ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	一医療人になるために患者対応から事務的な仕事まですべてを学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	本入社までにスムーズに働けるようになること
教科書	研修報告書
特記	就職先の現役医療事務員から入社後に必要な知識、技能を学ぶ
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 現場実習 (初・再診受付) ① 2 現場実習 (初・再診受付) ② 3 現場実習 (初・再診受付) ③ 4 現場実習 (初・再診受付) ④ 5 現場実習 (初・再診受付) ⑤ 6 現場実習 (医事課業務) ① 7 現場実習 (医事課業務) ② 8 現場実習 (医事課業務) ③ 9 現場実習 (医事課業務) ④ 10 現場実習 (医事課業務) ⑤ 11 現場実習 (外来クラーク) ① 12 現場実習 (外来クラーク) ② 13 現場実習 (外来クラーク) ③ 14 現場実習 (外来クラーク) ④ 15 現場実習 (外来クラーク) ⑤ 16 現場実習 (病棟クラーク) ① 17 現場実習 (病棟クラーク) ② 18 現場実習 (病棟クラーク) ③ 19 現場実習 (病棟クラーク) ④ 20 現場実習 (病棟クラーク) ⑤ 21 現場実習 (会計受付) ① 22 現場実習 (会計受付) ② 23 現場実習 (会計受付) ③ 24 現場実習 (会計受付) ④ 25 現場実習 (会計受付) ⑤ 26 現場実習 (看護助手) ① 27 現場実習 (看護助手) ② 28 現場実習 (看護助手) ③ 29 現場実習 (看護助手) ④ 30 現場実習 (看護助手) ⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	施設評価と日誌、取り組む姿勢により評価
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	85
授業科目	病院実習 V
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	一医療人になるために患者対応から事務的な仕事まですべてを学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	本入社までにスムーズに働けるようになること
教科書	研修報告書
特記	就職先の現役医療事務員から入社後に必要な知識、技能を学ぶ
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 現場実習 (初・再診受付) ① 2 現場実習 (初・再診受付) ② 3 現場実習 (初・再診受付) ③ 4 現場実習 (初・再診受付) ④ 5 現場実習 (初・再診受付) ⑤ 6 現場実習 (医事課業務) ① 7 現場実習 (医事課業務) ② 8 現場実習 (医事課業務) ③ 9 現場実習 (医事課業務) ④ 10 現場実習 (医事課業務) ⑤ 11 現場実習 (外来クラーク) ① 12 現場実習 (外来クラーク) ② 13 現場実習 (外来クラーク) ③ 14 現場実習 (外来クラーク) ④ 15 現場実習 (外来クラーク) ⑤ 16 現場実習 (病棟クラーク) ① 17 現場実習 (病棟クラーク) ② 18 現場実習 (病棟クラーク) ③ 19 現場実習 (病棟クラーク) ④ 20 現場実習 (病棟クラーク) ⑤ 21 現場実習 (会計受付) ① 22 現場実習 (会計受付) ② 23 現場実習 (会計受付) ③ 24 現場実習 (会計受付) ④ 25 現場実習 (会計受付) ⑤ 26 現場実習 (看護助手) ① 27 現場実習 (看護助手) ② 28 現場実習 (看護助手) ③ 29 現場実習 (看護助手) ④ 30 現場実習 (看護助手) ⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	施設評価と日誌、取り組む姿勢により評価
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	86
授業科目	病院実習Ⅵ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	一医療人になるために患者対応から事務的な仕事まですべてを学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	本入社までにスムーズに働けるようになること
教科書	研修報告書
特記	就職先の現役医療事務員から入社後に必要な知識、技能を学ぶ
授業計画	1 現場実習（初・再診受付）① 2 現場実習（初・再診受付）② 3 現場実習（初・再診受付）③ 4 現場実習（初・再診受付）④ 5 現場実習（初・再診受付）⑤ 6 現場実習（医事課業務）① 7 現場実習（医事課業務）② 8 現場実習（医事課業務）③ 9 現場実習（医事課業務）④ 10 現場実習（医事課業務）⑤ 11 現場実習（会計受付）① 12 現場実習（会計受付）② 13 現場実習（会計受付）③ 14 現場実習（会計受付）④ 15 現場実習（会計受付）⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	施設評価と日誌、取り組む姿勢により評価
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	87
授業科目	病院実習Ⅶ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	一医療人になるために患者対応から事務的な仕事まですべてを学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	本入社までにスムーズに働けるようになること
教科書	研修報告書
特記	就職先の現役医療事務員から入社後に必要な知識、技能を学ぶ
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 現場実習 (初・再診受付) ① 2 現場実習 (初・再診受付) ② 3 現場実習 (初・再診受付) ③ 4 現場実習 (初・再診受付) ④ 5 現場実習 (初・再診受付) ⑤ 6 現場実習 (医事課業務) ① 7 現場実習 (医事課業務) ② 8 現場実習 (医事課業務) ③ 9 現場実習 (医事課業務) ④ 10 現場実習 (医事課業務) ⑤ 11 現場実習 (外来クラーク) ① 12 現場実習 (外来クラーク) ② 13 現場実習 (外来クラーク) ③ 14 現場実習 (外来クラーク) ④ 15 現場実習 (外来クラーク) ⑤ 16 現場実習 (病棟クラーク) ① 17 現場実習 (病棟クラーク) ② 18 現場実習 (病棟クラーク) ③ 19 現場実習 (病棟クラーク) ④ 20 現場実習 (病棟クラーク) ⑤ 21 現場実習 (会計受付) ① 22 現場実習 (会計受付) ② 23 現場実習 (会計受付) ③ 24 現場実習 (会計受付) ④ 25 現場実習 (会計受付) ⑤ 26 現場実習 (看護助手) ① 27 現場実習 (看護助手) ② 28 現場実習 (看護助手) ③ 29 現場実習 (看護助手) ④ 30 現場実習 (看護助手) ⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	施設評価と日誌、取り組む姿勢により評価
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	88
授業科目	小児援助実践Ⅲ
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	環境ごとの乳児、幼児とのかかわり方を演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	環境の特徴を生かした乳児・幼児のかかわり方を身につける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 乳児、幼児に必要な環境構成 2 健康に配慮した環境とは 3 安心・安全な環境とは 4 異年齢の集団に対する援助実践 5 屋内での援助実践① 6 屋内での援助実践② 7 屋内での援助実践③ 8 屋内での援助実践④ 9 屋外での援助実践① 10 屋外での援助実践② 11 屋外での援助実践③ 12 屋外での援助実践④ 13 屋外での援助実践⑤ 14 季節を考慮した援助実践① 15 季節を考慮した援助実践②
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	89
授業科目	小児援助実践Ⅳ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	自ら設定した対象に対し、援助計画の立案、実践の流れを演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	対象の研究、援助計画の立案、実践技術を一連の流れを通して身につける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 援助計画について 2 対象に合わせた援助計画の作成① 3 対象に合わせた援助計画の作成② 4 対象に合わせた援助計画の作成③ 5 対象に合わせた援助計画の作成④ 6 対象に合わせた援助計画の作成⑤ 7 対象に合わせた援助実践① 8 対象に合わせた援助実践② 9 対象に合わせた援助実践③ 10 対象に合わせた援助実践④ 11 対象に合わせた援助実践⑤ 12 対象に合わせた援助実践⑥ 13 対象に合わせた援助実践⑦ 14 対象に合わせた援助実践⑧ 15 対象に合わせた援助実践⑨
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	90
授業科目	小児援助実践Ⅴ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	遊びを通して乳児、幼児とのかかわり方を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	安全、環境構成など様々な配慮点を身に付ける
教科書	楽しさを通じた心の元気づくり
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 乳児、幼児に必要な環境構成 2 健康に配慮した環境とは 3 安心・安全な環境とは 4 異年齢の集団に対する運動あそび援助実践 5 屋内での運動あそび援助実践① 6 屋内での運動あそび援助実践② 7 屋内での運動あそび援助実践③ 8 屋内での運動あそび援助実践④ 9 屋外での運動あそび援助実践① 10 屋外での運動あそび援助実践② 11 屋外での運動あそび援助実践③ 12 屋外での運動あそび援助実践④ 13 屋外での運動あそび援助実践⑤ 14 季節を考慮した運動あそび援助実践① 15 季節を考慮した運動あそび援助実践②
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	91
授業科目	小児援助実践VI
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	運動を通して乳児、幼児とのかかわり方を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	運動の効果、楽しさを学ぶ
教科書	楽しさを通した心の元気づくり
特記	
授業計画	1 援助計画について 2 対象に合わせた運動あそびの援助計画の作成① 3 対象に合わせた運動あそびの援助計画の作成② 4 対象に合わせた運動あそびの援助計画の作成③ 5 対象に合わせた運動あそびの援助計画の作成④ 6 対象に合わせた運動あそびの援助計画の作成⑤ 7 対象に合わせた運動あそびの援助実践① 8 対象に合わせた運動あそびの援助実践② 9 対象に合わせた運動あそびの援助実践③ 10 対象に合わせた運動あそびの援助実践④ 11 対象に合わせた運動あそびの援助実践⑤ 12 対象に合わせた運動あそびの援助実践⑥ 13 対象に合わせた運動あそびの援助実践⑦ 14 対象に合わせた運動あそびの援助実践⑧ 15 対象に合わせた運動あそびの援助実践⑨
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	92
授業科目	音楽ケアの基礎Ⅱ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	音楽がもつ様々な効果と音楽教育の重要性を学ぶ
授業の進め方	講義と実技を通して学ぶ
達成目標	音楽ケアの基礎を身につける
教科書	ダルクローズシステムによるリトミック、リズム練習とソルフェージュ1
特記	
授業計画	1 童謡を使った音楽ケア実践① 2 童謡を使った音楽ケア実践② 3 童謡を使った音楽ケア実践③ 4 童謡を使った音楽ケア実践④ 5 童謡を使った音楽ケア実践⑤ 6 童謡を使った音楽ケア実践⑥ 7 童謡を使った音楽ケア実践⑦ 8 童謡を使った音楽ケア実践⑧ 9 童謡を使った音楽ケア実践⑨ 10 童謡を使った音楽ケア実践⑩ 11 童謡を使った音楽ケア実践⑪ 12 童謡を使った音楽ケア実践⑫ 13 童謡を使った音楽ケア実践⑬ 14 童謡を使った音楽ケア実践⑭ 15 童謡を使った音楽ケア実践⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	93
授業科目	音楽ケアの基礎Ⅲ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	音楽がもつ様々な効果と音楽教育の重要性を学ぶ
授業の進め方	講義と実技を通して学ぶ
達成目標	様々な音楽ケアを知る
教科書	ダルクローズシステムによるリトミック、リズム練習とソルフェージュ1
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 音楽が与える心理的影響① 2 音楽が与える心理的影響② 3 音楽と感情① 4 音楽と感情② 5 生活の中の様々な音 6 音楽コミュニケーション① 7 音楽コミュニケーション② 8 音楽コミュニケーション③ 9 音楽コミュニケーション④ 10 音楽コミュニケーション⑤ 11 音楽コミュニケーション⑥ 12 楽器を活用した音楽ケア実践① 13 楽器を活用した音楽ケア実践② 14 楽器を活用した音楽ケア実践③ 15 楽器を活用した音楽ケア実践④
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	94	
授業科目	音楽ケアの基礎Ⅳ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	リズムや楽器を活用した音楽ケアを学ぶ	
授業の進め方	講義と実技を通して学ぶ	
達成目標	音楽ケアリーダーとして、実践できるようにする	
教科書	ダルクローズシステムによるリトミック、リズム練習とソルフェージュ1	
特記		
授業計画	1	音とリズムと身体①
	2	音とリズムと身体②
	3	音とリズムと身体③
	4	音とリズムと身体④
	5	音とリズムと身体⑤
	6	様々な楽器を活用した音楽ケア①
	7	様々な楽器を活用した音楽ケア②
	8	様々な楽器を活用した音楽ケア③
	9	様々な楽器を活用した音楽ケア④
	10	様々な楽器を活用した音楽ケア⑤
	11	様々な楽器を活用した音楽ケア⑥
	12	様々な楽器を活用した音楽ケア⑦
	13	様々な楽器を活用した音楽ケア⑧
	14	様々な楽器を活用した音楽ケア⑨
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	95
授業科目	養護内容Ⅱ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	様々な角度で養護を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	広義の養護について全体像を把握する
教科書	社会的養護と障害児保育
特記	
授業計画	1 養護について① 2 養護について② 3 養護について③ 4 医療と養護① 5 医療と養護② 6 医療と養護③ 7 心身の健康① 8 心身の健康② 9 心身の健康③ 10 生命の保持と情緒の安定① 11 生命の保持と情緒の安定② 12 生命の保持と情緒の安定③ 13 自立支援① 14 自立支援② 15 自立支援③
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と試験により評価する。
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	96	
授業科目	養護内容Ⅲ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	養護を実践している施設の現状を理解し、そこで必要なスキルを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	成長の段階での養護について把握する	
教科書	社会的養護と障害児保育	
特記		
授業計画	1	小児の発達段階①
	2	小児の発達段階②
	3	小児の発達段階③
	4	小児の発達段階④
	5	小児の発達段階⑤
	6	小児の心理①
	7	小児の心理②
	8	小児の心理③
	9	小児の心理④
	10	小児の心理⑤
	11	地域医療・地域福祉の活用①
	12	地域医療・地域福祉の活用②
	13	地域医療・地域福祉の活用③
	14	地域医療・地域福祉の活用④
	15	地域医療・地域福祉の活用⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と試験により評価する。	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	97
授業科目	相談支援法
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	相談援助が必要な方に対する支援方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相談支援に必要な知識、技術、支援方法を理解する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 相談支援の基本 2 相談支援が必要な様々な場面 3 相談支援に必要な技術① 4 相談支援に必要な技術② 5 相談支援に必要な技術③ 6 相談支援に必要な技術④ 7 DVの事例およびその保護者支援① 8 DVの事例およびその保護者支援② 9 DVの事例およびその保護者支援③ 10 障害受容の事例および保護者支援① 11 障害受容の事例および保護者支援② 12 障害受容の事例および保護者支援③ 13 個人面談について 14 個人面談事例研究 15 相談援助のまとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と試験により評価する。
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	98
授業科目	表現と言葉
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	保育所保育指針に示す5領域のうち「表現」について演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	対象年齢に合わせた言葉掛けやアプローチ方法を身につける
教科書	保育所保育指針
特記	
授業計画	1 表現とは 2 5領域における表現① 3 5領域における表現② 4 素話① 5 素話② 6 素話③ 7 様々な表現① 8 様々な表現② 9 様々な表現③ 10 様々な表現④ 11 様々な表現⑤ 12 様々な表現⑥ 13 年齢に合わせた言葉掛け① 14 年齢に合わせた言葉掛け② 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	99
授業科目	接遇論マナー実践
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	基本的なビジネススキルの向上
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	身に着けた知識や技能を実際に仕事上で活かせるようになる
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 挨拶（言葉遣い）の必要性 2 基本的な言葉遣い 3 クッション言葉 4 状況に応じた言葉遣い 5 笑顔・お辞儀 6 基本的な電話応対 7 応用的な電話応対 8 電話応対演習① 9 電話応対演習② 10 電話応対演習③ 11 電話応対演習④ 12 電話応対演習⑤ 13 名刺交換① 14 名刺交換② 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	100
授業科目	ビジネスマナー実践
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	業界、企業、施設で必要なマナーを演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	社会人としての意識の向上を図る
教科書	オリジナルテキスト・配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 社会人と学生との違い（働くとは） 2 仕事選びの基準 3 業界研究 4 企業研究① 5 企業研究② 6 企業研究③ 7 企業研究④ 8 様々な社会保障について 9 他業種との連携① 10 他業種との連携② 11 業界時事① 12 業界時事② 13 業界時事③ 14 業界時事④ 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	